

アタイム 一般社団法人ヘルスサポート

「スマート事故防止システム」を提案

【三重】健康推進
に關わる事業を展開
するアタイム(四日市)
代表の山田舞氏と二
般社団法人ヘルスサ
ポートで理事を務め
る織戸啓氏。両氏は
健康管理に根ざした
運送事業者向けサー
ビス「スマート事故
防止システム」を提
案する。

コアとなるのは自律
神経機能にストレス
状態、および血管や
血液循環といった生
体情報を検出するス
トレス&血管状態検
査「バイス」スマー
トパルス。本体の
重さはおよそ50gと
携帯性にすぐれ、ア
プリ管理とデータの
蓄積を通しては週々
て従業員の健康管理
履歴が追える。
スマート事故防止

システムは「万が一
ならぬ後の対策が取
れた」との考えで教
育、個人分析、組織
分析、エビデンス面
における効果が期待
され、「ドライバ
の健康課題を改善す
ることがすべての解
決策」の方針で運送
業界の重要課題にア
プローチしていく。
織戸氏は同システ
ムについて、「健康



織戸氏 (左) と山田氏

進の良いきっかけに
もなる」とコメント。
また、山田氏は、
「実際に使用すると
自分では気付けない
ようなストレス状態
を含めた体の状態が
認識でき、ドライ
バー自身はもちろ
ん管理者側がそれを把
握することによって
事故の未然防止など
につなげることがで
きる」と示し、シス
テムの導入と健康経
営認証の先にある安
全への思いに言及し
ている。(朝妻聖一)